

すま 3月

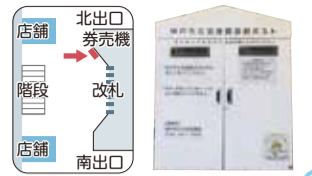
2019(平成31年)



「市立図書館の返却ポスト」を名谷駅に設置しているぼう!

市営地下鉄名谷駅券売機前に市立図書館で借りた図書の返却ができる「返却ポスト」を設置しているぼう。皆さん、ご利用ください。

市立中央図書館総務課
☎371-3351 FAX 371-5046



【須磨の桜名所】

須磨は古くから桜の名所があり、文人に愛され、桜に関する歌が詠まれています。今回は桜に関する句碑・歌碑をご紹介します。須磨の桜をめぐりながら須磨の歴史も感じてみてはいかがでしょうか?



須磨寺 植櫻記碑 (神田兵右衛門句碑)

花千母登 昔稚木の さくら哉

(皆さんが植樹したあの千本桜も今や慈悲あふれる堂々とした母樹だ。かつては若木のさくらであったのになあ(前途を囑望し、植桜を記念して詠む)。)

明治24年に建立された句碑で、当時、須磨寺は度重なる天災や人災により多大な被害を受けました。神田兵右衛門が「作楽帳」という寄付帳をつくり、民から一人一本桜の若木の寄付を行い、千本もの桜が須磨寺に集まり、「新吉野」とまで言われる桜の名所が誕生したそうです。また、神田兵右衛門は運河の築造、水道の布設などの公共事業を行い、神戸市の初代市会議長を務めた人物としても有名です。



■ 山陽電車「須磨寺駅」から北へ徒歩5分

関守稻荷神社 藤原定家歌碑

桜花 たがせの若木 ふり果てて
須磨の関屋の 跡うづむらん

(いつの世に誰が若木を植えた桜なのだろう。今はすっかり古木になり、散り果てて須磨の関屋の跡を埋めている。)

藤原定家は、鎌倉時代初期の公家・歌人で、代表的な新古今調の歌人として、後世の歌に極めて大きな影響を残した人として知られています。また、『小倉百人一首』を撰進した人としても有名です。百人一首に「来ぬ人をまつほの浦の夕風に 焼くや藻塩の身もこがれつつ」という句を詠んでいます。



■ JR・山陽電車「須磨駅」から北東へ徒歩約8分

スマウラフゲンゾウ 須磨浦普賢象に想う

特定非営利活動法人 兵庫県樹木医学会
理事長 河合 浩彦

私が10歳の時、山口県から引っ越してきて、「何と美しい花だ」と見入った桜 —それが「普賢象」だ。「普賢象」という名は、めしべの形が普賢菩薩(命あるものを救う慈悲を司る菩薩)の乗る白象の鼻に似る所から名付けられたという。1990年、須磨浦公園に植えられた「普賢象」の中に一枝だけ黄色い花をつけたものが、竹博士の室井綽農学博士によって発見され、「須磨浦普賢象」と名付けられた。室井先生は私の大恩師で、中学時代より植物について多くの事を教えていただいた。

神戸発祥の桜としては、東灘の「笹部桜」「岡本桜」そして須磨の「須磨浦普賢象」がある。いよいよ「須磨浦普賢象」が、須磨をそして神戸を彩る。さあ責任重大だ。



2月2日(土) 須磨浦普賢象記念植樹式

須磨妙法寺川さくらまつり 入場無料

今年も須磨妙法寺川さくらまつりが開催されます。美しい桜のアーチとともに、模擬店や子ども広場、楽しいステージなどをお楽しみください。

日時 3月31日(日) 12:00~16:00 (模擬店は11:00~)

※小雨決行。雨天中止・順延なし

場所 妙法寺川公園

主催 須磨妙法寺川さくらまつり実行委員会



イベント案内申込センター ☎333-3372 FAX 333-3314

